



上居辺小学校だより
 第357号
 令和8年5月28日
 士幌町立上居辺小学校
 TEL 5-3334

せっさたくま
運動会のテーマ 『切磋琢磨～最後まで全力を尽くす～』

校長 菊地直樹

今年度の運動会（6月6日・土曜日）のテーマが上記の通り決定しました。子どもたちがどのような運動会にしたいのかを考え、クラスや児童会で話し合い決定しました。

『芽がしわ4月号』でも掲載しましたが、開校110周年記念の運動会は単独での開催となりました。また、保育所種目が4種目なくなってしまったことで小学生がプログラムに休憩時間を設けなければ休憩できなくなってしまうこと、午前開催の時間が更に短くなり、盛り上がりやに欠けてしまうことが心配されることから、佐藤公民館運営推進委員長さんと井上青年部支部長さんに協力を仰ぎ、PTA役員・学校と4者で協議し、今まで行っていた種目に3種目を加えることといたしました。1つ目は**幼児種目「走るが勝ちよ！」（徒競走）**、2つ目は**公民館・青年部・教職員・PTAの混成チームによる「大玉転がし」**、3つ目はおじいちゃん・おばあちゃん世代の方々によるリレー形式の**地域・祖父母競技「釣人リレー」**です。今まで行われていた一般種目（来賓・中学生も含）の「玉入れ」はそのまま継続実施いたします。標記した4種目すべてに景品を用意しておりますので、たくさんの方に参加していただき、大いに運動会を盛り上げてください。規模は違いますが、少しだけコロナ前の地区運動会に近づけ、応援だけではなく参加型の運動会とすることで地区の皆様にもたくさんご来場いただき楽しんでもらえたら幸いです。勝利を目指して一生懸命競技する子どもたちの姿と地域の皆様のご理解・ご協力で運動会を更に盛り上げて、子どもたちの思い出に残る運動会と地域のみなさんに楽しんでもらえる運動会を目指します。

【運動会と8つのチャレンジの関わり】 * 運動会を通じて取り組んでほしい事柄

夢や目標
(ゆめ) (もくひょう)

**自分のよさ
 友達のよさ**
(じぶん) (ともだち) みんななかよし

**いきいき
 元気**
(げんき)

工夫する
(くふう) トライ&チェンジ

※組団や個人の目標に向かって努力できたか？
 ※最後まで全力で取り組んでいたか？

※協力できていたか？
 ※自分の良さを発揮できたか？
 ※友達の良いところを気付いていたか？

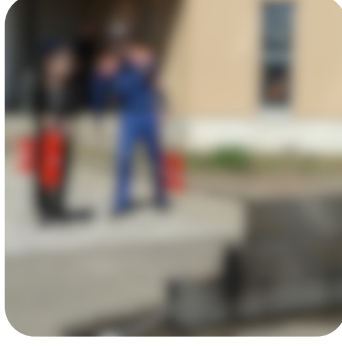
※意欲的に参加できたか？
 ※勝っても負けてもお互いを讃え合い、競い合っていたか？

※失敗を恐れず積極的に挑戦できていたか？
 ※勝利のために工夫やアイデアを出し合い取り組んでいたか？

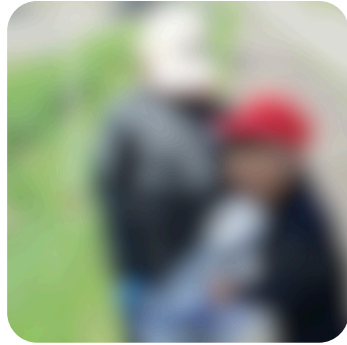
◎上記の内容を子どもたちに期待し、運動会を通じて学び・成長してほしいと願っています。

学校生活

避難訓練 (火災)



クリーンナップ作戦



PTA環境整備



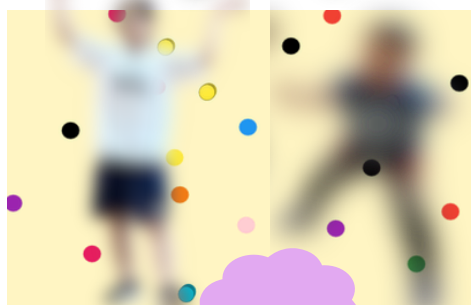
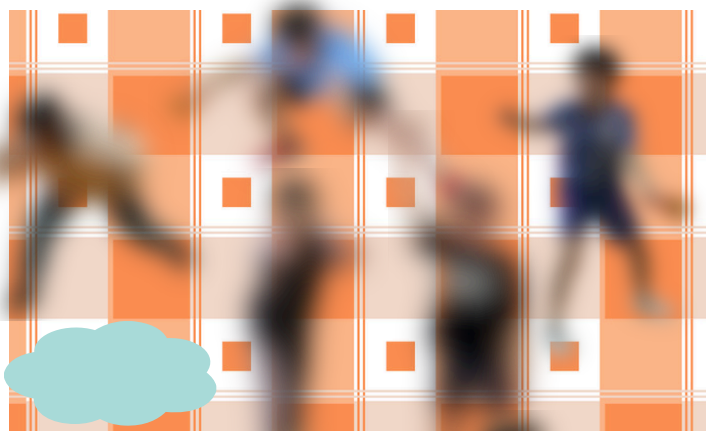
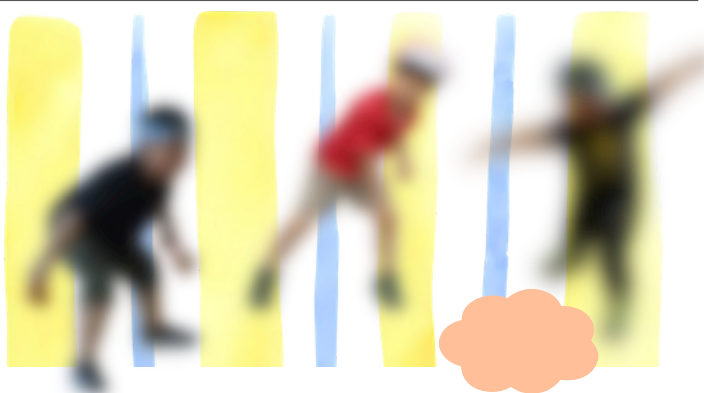
6月

- 1日 (月)
- 2日 (火) 児童会 (運動会)
- 3日 (水) 運動会総練習
- 4日 (木)
- 5日 (金) 運動会前日準備
- 6日 (土) 運動会
- 7日 (日)
- 8日 (月) **振替休業** 
- 9日 (火)
- 10日 (水) 交通安全指導
職員会議
- 11日 (木)
- 12日 (金) 尿検査 (3次)、児童会
- 13日 (土)
- 14日 (日)
- 15日 (月)
- 16日 (火) クラブ
教育委員学校訪問
- 17日 (水)
- 18日 (木) 巡回図書、研修会議
- 19日 (金) 遠足
- 20日 (土)
- 21日 (日)
- 22日 (月) 
- 23日 (火) 内科検診
町校長・教頭会議
- 24日 (水) 分掌会議
歯みがき指導
土幌町スポーツ少年団本部総会
- 25日 (木) 歯科検診 13:10~
- 26日 (金) 新体力テスト①
研修会議
- 27日 (土)
- 28日 (日)
- 29日 (月) 修学旅行保護者説明会
19:00~ (総合研修センター)
- 30日 (火) スクールカウンセラー
来校 

運動会に向かってGO!GO!



「切磋琢磨」仲間同士で励まし合い、競い合いながら向上していく



よさこい



6月6日の運動会に向けて、子どもたちは、毎日練習に励んでいます。応援や表現、係活動など、それぞれの役割を一生懸命に取り組む姿とともに、上級生が下級生に声をかけたり、動きを教えたりする場面も見られ、頼もしく感じています。今週は体育館での練習が中心でしたが、本番がとても楽しみです。当日、外で元気いっぱい活動する姿を、ぜひ見ていただけたらと思います。

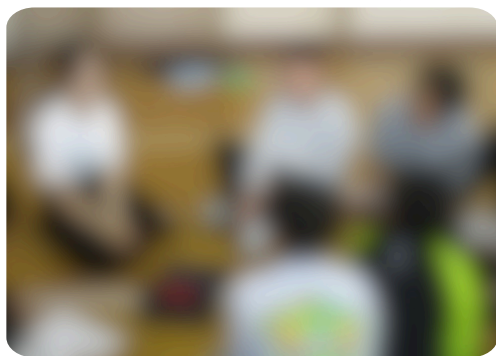
子どもたち一人一人への温かいご声援をよろしくお願いいたします。

読書活動



4月から、本校では「読書活動の充実」に取り組んでいます。

図書の貸し出しや朝読書、読書カードの活用、学級文庫の整備など、子どもたちが日常の中で自然に本に親しめるよう、さまざまな取組を進めています。「自分で本を選び、読む習慣づくり」や『子どもたちの興味や学年の実態に合わせた学級文庫』など『いつでも本が手に取れる環境』を大切にしています。さらに、朝の「わくわくタイム」を活用した読書活動や、おすすめの本を紹介し合う活動などを通して、「読むことが楽しい」と感じられる機会を増やしていきたいと考えています。



現在、子どもたちは6月の運動会に向けて、日々練習や準備に取り組んでいます。本校は小規模校だからこそ、学年を越えた関わりが自然に生まれています。

高学年の子どもたちは、低学年や中学年の子どもたちに動きを教えたり、声をかけたりしながら活動を支えています。その際、「どう伝えたら分かりやすいか」「どんな言葉なら安心して取り組めるか」「どのくらいの説明が必要か」など、相手の学年や様子に合わせて考えながら関わる姿が見られます。

「まず、足だけやってみようか。できたら次に手をつけてみよう。」「ゆっくりでも大丈夫。一個ずつやっ

ていくと、ちゃんとできるようになるよ。」など、相手が分かりやすいように具体的に伝える姿が見られます。また、一回で全部を説明するのではなく、「今はここだけやってみよう」と伝え、低学年にも分かりやすい言葉を選びながら関わる様子も見られます。言葉だけで伝えるのではなく、自分で動きを見せたり、一緒にやってみたりしながら伝えることで、安心して活動できる雰囲気が生まれています。

また、運動会の練習の様子を見てみると、本をよく読んでいる子どもたちは、相手に伝わる言葉をよく考えながら声をかけているように感じます。「やばい」「すごい」などの短い言葉だけで終わるのではなく、「今の動き、そろったから見ている人も気持ちよくなったよ。」「その声かけがあったから、みんな上手にできたね。」など、相手の様子や気持ちを具体的に言葉にして伝える姿が見られます。

読書によって蓄えられた言葉は、単に“知っている言葉”として残るだけではなく、相手を思いやり、自分の考えを整理し、経験を振り返る力として、日々の活動の中で生きて働いていることを強く感じます。

現在、文部科学省でも「主体的・対話的で深い学び」が大切にされていますが、本校の子どもたちは、小規模校ならではの温かな関わりの中で、自然とそのような学びを積み重ねています。

本校では、読書活動と体験活動を結び付けながら、「感じたことを考え、自分の言葉で表現できる子ども」の育成を目指しています。これからも、一人一人が役割をもち、互いに支え合いながら成長できる環境を大切にしていきたいと思えます。

ぜひご家庭でも、「今日はどんなことを感じたの?」「どうしてそう思ったの?」と、お子さんの話に耳を傾けていただければ幸いです。また、短い時間でも本に親しむ時間をつくっていただければと思います。

読書カードが一枚終わると景品がもらえるよ。

